

第33回 全国大会研究発表会 2018年12月16日（日）午前

| 時間                           | 第1会場 (M2601)  | 第2会場 (M2602)  | 第3会場 (M2606)  | 第4会場 (M2607)  | 第5会場 (M2608)   |  |
|------------------------------|---|---|---|---|--|--|
| 1セッション<br>9:00<br>～<br>10:40 | <p>司会:深見聡(長崎大学)</p> <p>&lt;観光政策&gt;</p> <p>1 観光政策における「明日の日本を支える観光ビジョン」の意義について—宿泊関連政策に焦点をあてて—</p> <p>出口高靖</p> <p>2 域内調達率向上に向けた調査に関する試論</p> <p>西川亮・梅川智也</p> <p>3 水俣市における教育旅行—水俣病への説明変化に着目して—</p> <p>宮崎友里</p> <p>4 簡易宿所(ゲストハウス)による伝統産業地区再生の可能性—京都西陣・友禅地区のインナーシテイ問題—</p> <p>近藤政幸</p> <p>5 ツーリズムクラスター概念の提示とクラスター間の結節機能の必要性—勝沼のワインツーリズムを事例とした—考察—</p> <p>高橋一夫</p> | <p>司会:中村哲(玉川大学)</p> <p>&lt;観光マーケティング&gt;</p> <p>15 AIを活用しオンラインの問い合わせを自動対応化する</p> <p>富吉光則</p> <p>16 観光地「日本」の魅力と競合関係にある国についての一考察—訪日観光客からのアンケート調査の結果より—</p> <p>山下裕明</p> <p>17 観光地のキャッシュレス決済に関する研究—Phase 1</p> <p>朝倉はるみ</p> <p>18 日本版DMOに関する考察—プレイス・ブランドディングの視点から—</p> <p>徳山美津恵・長尾雅信</p> <p>19 航空座席予約におけるマーケティング・チャネルの推移について—航空事業環境の変化を背景にした考察—</p> <p>伊藤洋三</p> | <p>司会:塩谷英生((公財)日本交通公社)</p> <p>&lt;観光経済・産業&gt;</p> <p>27 中国麗江市における観光関連産業の構造分析—立地比率分析とシフト・シェア分析による考察—</p> <p>蔣蕾</p> <p>28 インバウンドが今後の我が国の地方経済にもたらす効果に関する考察</p> <p>桃井謙祐</p> <p>29 地域特有素材のウェルネス観光資源化に関する調査研究—沖縄県の伝統薬草ヒハツモドキを対象に—</p> <p>玉城円美・荒川雅志</p> <p>30 観光まちづくりにおけるイノベーションの源泉—由布院におけるアートをめぐる—考察—</p> <p>米田誠司・大澤健</p> <p>31 我が国における消費税免税店の現状と課題—外国人観光客増加と空港別状況を中心として—</p> <p>河本光弘</p> | <p>司会:山崎隆之(長野大学)</p> <p>&lt;観光の歴史・文化&gt;</p> <p>40 「特撮ツーリズム」の持続と海外進出</p> <p>二重作昌満・田中伸彦</p> <p>41 鎌倉時代における「観光」の用例について—新たな発見と知見の整理—</p> <p>上田卓爾</p> <p>42 草創期の避暑地日光中禅寺に見る外国人別荘</p> <p>手嶋潤一・小島喜美男</p> <p>43 フランスの近代観光イベントに関する—考察—ルルド巡礼を事例として—</p> <p>羽生敦子</p> <p>44 「蔵のまち」喜多方の誕生と観光化をめぐる諸問題—「観光のまなざし」を分析枠組みに—</p> <p>池本淳一</p>  | <p>司会:内田彩(千葉商科大学)</p> <p>&lt;地域振興・コミュニティ&gt;</p> <p>57 トランジットツアーを利用した門前町の活性化に関する研究—成田山新勝寺周辺を対象として—</p> <p>西山孝樹・金子正輝・田中賢・天野光一</p> <p>58 Living museumの概念と真正性—南インドを事例として—</p> <p>中鉢令兒</p> <p>59 淡路島における郷土芸能を活用した観光振興に向けた学校教育の課題—淡路島と八重山諸島の高校生アンケート調査結果の比較・分析—</p> <p>投石文子・森重昌之</p> <p>60 観光ガバナンスの実践に向けた地域外関係者のかかわり方の類型化</p> <p>森重昌之・海津ゆりえ・内田純一・敷田麻実</p> <p>61 観光地域づくり人材育成の手法に関する考察—3年間の企業インターンシッププログラムの検証—</p> <p>田中智麻</p> |  |
|                              | 2セッション<br>10:50<br>～<br>12:30   | <p>司会:佐野浩祥(東洋大学)</p> <p>&lt;観光政策&gt;</p> <p>6 観光産業における受動喫煙対策の現状と課題</p> <p>山川雅行</p> <p>7 バリアフリー観光推進におけるバリアフリーツアーセンターの予備的研究</p> <p>伊藤薫</p> <p>8 観光振興組織が担うプレイス・メイキング—オランダ・ユトレヒトおよびベルギー・ブリュッセルを事例として—</p> <p>野瀬元子・古屋秀樹・崔瑛</p> <p>9 「観光年テーマ」から見る中国の観光政策の変遷</p> <p>郭倩</p> <p>10 日本におけるフィルムコミッションの展開に関する考察—韓国釜山市フィルムコミッションとの比較を通じて—</p> <p>藤谷律代</p>                | <p>司会:栗原剛(東海大学)</p> <p>&lt;観光マーケティング&gt;</p> <p>20 メガイベントの学生通訳ボランティア募集と動機付け</p> <p>李根熙</p> <p>21 ホテル・旅館経営者及び宿泊者の意識の特徴—鳥取県倉吉市を対象として—</p> <p>保永展利・牧田佳子</p> <p>22 「OLI 'OLIシステム」の価値共創のメカニズム</p> <p>阿曾真紀子・辻野啓一</p> <p>&lt;観光地計画&gt;</p> <p>49 クルーズ船誘致に向けた自治体の取り組みに関する研究—北海道を対象とした整備方針の把握と課題の抽出—</p> <p>寺口敬秀・桜井慎一・野口翔</p> <p>50 災害後の観光客入込数についての一考察—東日本大震災からの復興に向けて—</p> <p>稲葉雅子</p>      | <p>司会:遠藤英樹(立命館大学)</p> <p>&lt;観光行動・心理&gt;</p> <p>32 旅行形態別に見る旅行者の観光動向に関する研究—千葉県南房総地域を事例に—</p> <p>岩本英和・内山達也・于航・山本剛</p> <p>33 訪日外国人観光客に対する住民の態度に関する—試論—海外旅行経験による寛容性の涵養—</p> <p>西村幸子</p> <p>34 コンテンツツーリズムの中のファンツーリズム—静岡県沼津市を訪問する「ラブライブ!サンシャイン!!」のファンを事例として—</p> <p>毛利康秀</p> <p>35 観光者の購買行動を促すサービススケープに関する研究—沖縄県那覇市国際通り周辺商店街における衝動的土産物購買行動の場合—</p> <p>上原明・直井岳人・飯島祥二・伊良皆啓</p> <p>36 旅行キャリアと最適な旅の経験 (1) —個人にとっての「いい旅」からの検討—</p> <p>林幸史・岡本卓也</p> | <p>司会:岡村祐(首都大学東京)</p> <p>&lt;観光の歴史・文化&gt;</p> <p>45 文学による景観の定義</p> <p>舩谷鋭</p> <p>46 温泉旅館における泊食分離の変遷について</p> <p>内田彩</p> <p>47 沖縄県におけるコンテンツツーリズムの現状と課題—韓流映画・ドラマを事例として—</p> <p>朴在徳・安昌鉉・柳銀珠</p> <p>48 観光ガイドブックに見る日本人の韓国旅行とその変化—1970～1990年代を中心に—</p> <p>澁谷鎮明</p> <p>49 ダークツーリズムでアプローチする高度科学技術社会の新局面</p> <p>井出明</p>  | <p>司会:高久聡司(目白大学)</p> <p>&lt;地域振興・コミュニティ&gt;</p> <p>62 沖縄の観光現場における方言活用の実態と課題</p> <p>有銘あかり</p> <p>63 カナダにおけるフード・トレイルとステークホルダー—フード・ツーリズムにおける戦略と協力体制—</p> <p>中子富貴子</p> <p>64 知名度の低い地域の歴史遺産の旅行商品化に関する—考察—モニターツアー「千曲川シルクストーリー」を事例に—</p> <p>山崎隆之</p> <p>65 観光地を小さくフラットにする—カジュアル志向のチェンジメーカーを育成する必要性について—</p> <p>村上和夫・安江枝里子</p> <p>66 日本の観光NPOの全国データ分析からの一考察</p> <p>中尾公一・西出優子</p> |

第33回 全国大会研究発表会 2018年12月16日(日)午後

| 時間   | 第1会場 (M2601)  | 第2会場 (M2602)  | 第3会場 (M2606)   | 第4会場 (M2607)   | 第5会場 (M2608)  |
|--|---|---|--|--|---|
| 3セッション<br>14:00<br>～<br>15:20                | 司会:山田耕生(千葉商科大学)<br>＜観光政策＞<br>11 価格訴求型旅行促進による災害時の観光復興政策の比較研究<br><br>室岡祐司 | 司会:崔瑛(静岡英和学院大学)<br>＜観光経営＞<br>23 DMOの価値創造と地域住民—群馬県の日本版DMOを中心にした考察—<br><br>大野富彦                                     | 司会:直井岳人(首都大学東京)<br>＜観光行動・心理＞<br>37 観光学的特性を有した商業施設の間人-環境系に関する研究—沖縄県那覇市国際通り周辺におけるフロント・バックの環境学的特性の分析—<br>仲泊華希・宮田有理・上原明・飯島祥二 | 司会:鈴木涼太郎(独協大学)<br>＜観光・ホスピタリティ教育＞<br>67 世界遺産観光における観光教育の重要性—「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を事例に—<br><br>深見聡・沈智炫                    | 司会:原一樹(京都外国語大学)<br>＜国際観光＞<br>73 中国系観光客の訪日旅行に「仲介者」が果たす役割<br><br>王瑩雪                        |
|  | 12 北海道の広域観光周遊ルート形成過程における諸課題に関する考察—広域観光における観光と交通などの連携の重要性—<br><br>渋谷容    | 24 城崎温泉のまちづくりにおける観光マネジメント—外湯とアートによる地域活性化—<br><br>辻本千春   | 38 海外旅行を通じた自己成長感の規定因—観光旅行経験に対する感情評価は自己成長感に影響するのか?—<br><br>宮川えりか・スコットクリスチャン・小口孝司  | 68 PBLを取り入れたインターンシップの有効性についての考察—那智勝浦町におけるインターンシップを事例として—<br><br>福井弘幸   | 72 東日本大震災後の日米大学交流中のボランティア・ツアーの自己評価—宮城県からヴァージニア州へ 2017-2018年—<br><br>丸岡泰                   |
|  | 13 わが国MICEビジネスの基本概念についての考察—一定性的な概念把握と新しい呼称の提案—<br><br>田部井正次郎            | 25 ガストロノミーツーリズムの商品開発に見るDMOの役割—フードツアーとフードトレイル—<br><br>尾家建生   | 39 観光資源を利用したリハビリテーション—パーキンソン病の人の場合—<br><br>赤松智子  | 69 観光地域人材育成プログラムの検討と課題—いしかわ光創造塾の事例—<br><br>種村聡子・永石尚子・敷田麻実  | 74 気候変動ツーリズムにおける観光経験—ツバルの「消えゆく」景観をめぐって—<br><br>小林誠  |
|  | 14 祇園祭山鉦巡行の後祭復興に関しての考察—山鉦巡行の観光と文化的価値に着目して—<br><br>伊藤節子                  | 26 観光地ライフサイクル (TALC) に基づく包括的エリア・マネジメント<br><br>西井和夫  | 70 グローバル人材育成における海外インターンシップの重要性について—マレーシアのホテル業における日本人インターンシップ受け入れを事例に—<br>高橋加織・斎藤悦子                                       | 75 「動物へのまなざし」に関する—考察—海外に進出する「スノーモンキー」たち—<br><br>佐藤郁  |   |
| 4セッション<br>15:30<br>～<br>16:50                | 司会:津々見崇(東京工業大学)<br>＜農山漁村観光＞<br>51 生活クラブ生協と遊佐町の産直提携にみる連帯構築<br><br>三浦知子   | 司会:西村幸子(同志社大学)<br>＜海外研究＞<br>77 持続可能な開発目標(SDGs)を満たす観光地経営への—考察—パラオ共和国の「住民の観光に対する態度・観光キャリングキャパシティ」の研究より—<br><br>宮国薫子 | 司会:清野隆(江戸川大学)<br>＜都市観光＞<br>53 近代建築遺産ツーリズムを用いた戦後モダニズム建築の保存・活用効果に関する研究<br><br>加藤有紗・押田佳子・町田拓也                               | 司会:守屋邦彦((公財)日本交通公社)<br>＜ホスピタリティ＞<br>71 MICEの誘致・開催とホスピタリティの関係性に関する研究—特にホスピタリティの観点からみた「M」と「I」誘致・開催の課題—<br><br>総田はるみ・羽田耕治 | 司会:山本清龍(東京大学)<br>＜国際観光＞<br>76 地域における訪日教育旅行の受入態勢に関する考察—北海道訪日教育旅行促進協議会の取り組みを事例に—<br><br>宍戸学 |
|  | 52 全麵協のあゆみとそばによる地域振興に関する—考察—<br><br>古賀学・三浦知子・中谷信一                       | 78 台湾鹿港における公共レンタサイクルと観光振興について<br><br>林麗華・塩川太郎・林竟性   | 54 長崎市における観光メディアに掲載された博物館の特性と分布<br><br>山口太郎  | ＜その他＞<br>83 ダークツーリズム論における死の他者性—インドネシアの津波観光と死の解釈—<br><br>齋藤千恵   | ＜その他＞<br>86 大規模災害からの観光復興に関する考察—ボランティアツーリズムと福島第一原子力発電所を例に—<br><br>千葉千枝子                    |
|  | ＜観光統計・情報＞<br>81 日帰り旅行における現地滞在可能時間の都市比較—現地滞在可能時間地図—<br><br>廣田正樹          | 79 歴史的街区の保護と観光地化に伴う空間利用の変化に関する研究—中国杭州市河坊街と中山中路を中心に—<br><br>凌齊丹  | 55 都市部における着地型観光の企画・運営事業者の実態に関する考察—横浜市内における着地型観光に関する調査の結果から—<br><br>秋山友志  | 84 文化財を活用した地域づくりに関するミュージアムの可能性への—考察—泉南市埋蔵文化財センターにおける事業展開から—<br><br>和泉大樹  | 87 世界遺産登録に対する住民の態度—期待不一致理論による分析—<br><br>丸山奈穂  |
| 82 観光情報における「特別編集版」ガイドブックの役割に関する研究<br><br>正木聡 | 80 イタリアのアルベルゴ・ディフーズの現状と日本への応用に関する考察<br><br>山田耕生・藤井大介                    | ＜地域間交流＞<br>56 観光は地域間・個人間の格差縮小に貢献するか?—エージェント・ベース・モデルによる分析—<br><br>堀内史朗   | 85 観光地の事業者における災害時の避難誘導意識に関する研究—鎌倉市大仏通り商店街と由比ガ浜中央商店街を対象として—<br><br>久島琴音・押田佳子  | 88 「ガストロノミー」と「グルメ」に関わる—考察—その差異化の必要性—<br><br>玉置桃子   |   |